



みなみながさき

豊島区立南長崎幼稚園
園長 高橋 順子

幼児期の学び ～夏～

園長 高橋 順子

暑い日が続いています。園庭の栽培物は、夏の日差しを浴びて、トマトは赤く実り、枝豆も実をつけています。そして、プールも設置し、夏本番を迎える準備が整いました。幼児期の学びは、遊びや生活の体験を通して行われていきます。その中でも、「夏ならではの」体験は、子どもたちの学びを“ぐぐっと”広げてくれるものであると考えます。

幼稚園の活動では、プールが始まり、水の感触や水で遊ぶことで開放感を味わいます。水に慣れてくると、顔を水につけようとする挑戦する気持ちや体が水に浮く感覚を体験することを学んでいきます。そして、トマトが緑色から赤色に変わる、青虫がさなぎになり成虫となったチョウチョなど自然の不思議さに気づきます。

ご家庭では、夏休みになり、日頃よりお子さんと一緒にいる時間が長くなるご家庭もあるでしょう。お子さんの成長に気づくチャンスです。幼稚園では、テーブルを拭いたり靴箱の砂を掃いたりする当番活動があるのですが、ご家庭でもお手伝いとして、「食事の前にテーブルを拭く」「玄関の靴をそろえる」など、お子さんと相談してお子さんが力を発揮できる場面を作ってはいかがでしょうか。また、一緒に出かけることも多いと思います。幼稚園では、日頃、南長崎スポーツ公園、トキワ荘マンガミュージアム、昭和レトロ館などの地域の施設に出かけています。ご家庭でもぜひ、地域の施設に施設をご活用いただき、ご家庭でも経験したことを9月以降の園での遊びに活かしていきたいと考えています。

地域では、お子さんのために様々なイベントをご準備くださっています。ラジオ体操、スイカ割り、盆踊りなどに参加され、地域での「夏」を楽しんでみてはいかがでしょうか。

「夏ならではの」体験をして、好奇心をもち、考え、挑戦することなど幼児期の学びになるように幼稚園、家庭、地域がしっかりとつながるように努めて参りますので、共に、どうぞよろしくお願いいたします。

7月の指導のねらい

- 4歳児
 - ・プール遊びでの約束が分かり、水に親しんで遊ぶことを楽しむ。
 - ・遊びに必要な物や場を作り同じ場にいる友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。
 - ・汗をふく、汚れたら着替えるなど夏の生活に必要なことに気づき、自分でしようとする。
- 5歳児
 - ・プール遊びを楽しみながら、自分なりのめあてをもっていろいろな動きに挑戦しようとする。
 - ・友達の考えや思いを最後まで聞いたり、自分の考えや思いを言葉で伝えたりして、遊びを進めていく楽しさを感じる。
 - ・夏の自然に興味をもってかかわり、生長や変化に気付いたり、収穫したりすることを楽しむ。